



news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号
[URL] <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2016年4月13日

報道関係各位

北海道の水辺の環境保全を「ジョージアサントスプレミアム北海道限定デザイン」が応援



北海道e-水プロジェクト

「北海道e-水（イーミズ）プロジェクト」

2016年度助成団体決定&キックオフミーティング開催



北海道コカ・コーラボトリング株式会社(本社：札幌市清田区 社長：佐々木康行)は2009年11月、北海道との間で「環境保全に関するパートナーシップ協定」を締結しました。当社は、この協定に基づき北海道の豊かで美しい「水」を中心とした自然環境を守り、次世代へと引き継いでいくプロジェクト「北海道e-水（イーミズ）プロジェクト」を北海道、公益財団法人北海道環境財団の三者協働で取り組んでおります。

このプロジェクトは、当社が販売する「ジョージアサントスプレミアム北海道限定デザイン」の売上の一部を（公財）北海道環境財団に寄付し、道内各地域にて水環境の保全活動に取り組む団体および流域ネットワークの活動を支援するものです。

本年度の募集には、道内各地域の25団体から応募があり、3月25日に開催された有識者を含む選考会による厳正な審査を経て、8団体が採択されました。

【支援団体】（五十音順、詳細は別紙参照）

- | | |
|------------------|----------------------|
| ①網走川流域の会 | ②NPO法人霧多布湿原ナショナルトラスト |
| ③クッチャロ湖等保全対策協議会 | ④後志地域生物多様性協議会 |
| ⑤NPO法人日本野鳥の会十勝支部 | ⑥北海道ウチダザリガニ防除ネットワーク |
| ⑦丸瀬布昆虫同好会 | ⑧夕張川自然再生協議会 |

この度、下記の日程で本年度採択された8団体の事業計画を発表するキックオフミーティングを開催いたしますので、下記の通りお知らせいたします。

■2016年度 北海道e-水プロジェクト キックオフミーティング

| |
|---|
| 日 時：2016年4月15日（金）15:00～18:00 |
| 場 所：北海道コカ・コーラボトリング(株)本社2階講堂（札幌市清田区清田1条1丁目2-1） |
| 参加者：助成対象となった8団体の代表者（詳細は次項、別表1） |
| 主 催：北海道、（公財）北海道環境財団、北海道コカ・コーラボトリング(株) |



（昨年度の採択団体活動風景とジョージアサントスプレミアム北海道限定デザイン）

当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、責任ある企業市民として、北海道の魅力をさらに高める活動を、継続的に実行してまいります。これからも、次世代を担う子どもたちに、将来の地球の姿を考える場を提供することや、安全で安心な地域づくりを応援する取り組みを、地元企業として、事業活動を通して継続的に推進してまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・CSR推進部 担当：小野

TEL：011-888-2091

(別表1) 2016年度 北海道e-水プロジェクト 助成団体 (五十音順、敬称略)

| 区分 | 団体名/事業名 | 活動地域 | 事業概要 |
|------------------------------|--------------------------------|---|--|
| 流域ネットワーク | 網走川流域の会 | 網走川流域 | ・流域社会の役割、重要性、普及啓発のためのシンポジウム開催 ・小学生等を対象とした網走川流域学習事業(上流:森の役割、中流:農林業、生物、下流:網走湖と漁業) ・流域一斉清掃 |
| | 自然と人と産業が共存する網走川流域学習事業 | | |
| 単団体 | NPO法人霧多布湿原ナショナルトラスト | 浜中町 | ・琵琶瀬川河口域でのアマモ場の調査 ・フォーラムの開催(これまでの調査結果の発表及び生態系サービスや環境経済学などの専門家による講演) |
| | 海と湿原のつながり調査プロジェクト | | |
| | クッチャロ湖等保全対策協議会 | 浜頓別町 | ・浜頓別町開村100周年を記念した、全国の湿地で活動している子どもたちを招いた交流会(活動発表、現地見学・体験会、スローガンの決定など)の開催 |
| | KODOMOラムサール湿地交流会in浜頓別 | | |
| | 後志地域生物多様性協議会 | 後志管内各河川 | ・ウチダザリガニ防除事業についての現地見学会の開催 ・環境DNAを用いた水生生物の分布調査に関する啓発パンフレットの作成、勉強会の開催 ・河川水のサンプリング、ウチダザリガニの存在を確認するDNA解析 |
| | 水中の環境DNAで外来生物の分布調査 | | |
| | NPO法人日本野鳥の会十勝支部 | 池田町川合地区 | ・湿地の再樹林化を防ぐための、ヤナギ幼木・外来種雑草の防除イベントの開催、河川清掃 ・十勝の湿地の生物を紹介する冊子の作成 ・十勝環境交流会への出展 |
| | 湿地の復元を目指してヤナギ幼木を抜き取りながら河川を清掃する | | |
| 北海道ウチダザリガニ防除ネットワーク | 釧路ほか | ・防除体験イベントの開催及び支援 ・活動団体の交流防除 ・啓発資料の作成 ・外来ざりがにサミットの開催、通信紙の発行 | |
| ウチダザリガニ防除発展連携プロジェクト | | | |
| 丸瀬布昆虫同好会 | 丸瀬布武利川流域 | ・武利川の成り立ちについての勉強会 ・水生昆虫調査 ・ウチダザリガニの調査、駆除活動 ・町民・キャンパーへの周知活動、学校教育への成果還元など | |
| 武利川再生プロジェクト | | | |
| 夕張川自然再生協議会 | 夕張川流域 | 流域自治体シンポジウムの開催、サケマス自然復帰事業、歴史的な産業・文化遺産調査、資料蓄積事業、湿原再生事業、雨煙別川の調査活動、魚道設置、産卵床づくり、小中学生を対象とした体験活動の実施 | |
| 夕張川自然再生協議会を基にした流域市民連携のいい川づくり | | | |

- ・対象となる団体：道内の水辺における環境保全事業を行う非営利の団体または流域ネットワーク
- ・対象となる事業：道内の水辺（川、海、湖沼など）において環境保全活動を行う非営利の団体（または流域ネットワーク）が行う事業。

<例> 水質浄化、水辺の清掃活動、環境学習会や研修会、水源の森づくり、
在来種の回復や外来種駆除 など

- ・対象となる期間：2016年4月1日～2016年11月30日に実施される事業

（参考 1）活動の源である「ジョージアサントスプレミアム北海道限定デザイン」

「ジョージア サントスプレミアム北海道限定デザイン」は 1993 年に発売して以来 20 年間、北海道の多くのお客様に親しまれているコーヒーのロングセラー商品です。原材料に北海道産の乳・糖を使用し、北海道の地産地消を応援しております。パッケージデザインは、北海道の代表的な自然風景を採用し、ご愛飲いただいている皆さまから北海道の環境を守ることへの気持ちをお預かりするというかたちで、売上の一部を（公財）北海道環境財団へ寄付し、それを活用して北海道と連携のもと道内各地域の水辺において環境保全に取り組む団体と協働し、水辺の観察会や清掃活動などに取り組んでいます。2015 年度には約 1,000 万円の活動資金を寄付し、2010 年からの 6 年間で、合計約 6,800 万円となりました。

※4 種類のパッケージデザイン（左から 大沼、釧路湿原、大雪山、十勝平野）



（参考 2）北海道 e-水プロジェクト ロゴマーク



北海道e-水プロジェクト

エコロジーをイメージする「e」と、「きれいな水」というイメージを重ね合わせ、「北海道 e-水（イーミズ）プロジェクト」と名付けました。

（参考 3）北海道新聞エコ大賞 奨励賞受賞

（株）北海道新聞社が主催する「北海道新聞エコ大賞」では、北海道らしく地域に根ざしたテーマで環境保護に努める活動を表彰しています。北海道 e-水プロジェクトは、5 年間に渡って延べ 58 団体を助成してきた事や、団体間のネットワークづくりに注力し年度ごとにキックオフミーティング、活動報告や情報発信の場として「北海道 e-水（イーミズ）フォーラム」を開催している点が評価され、2015 年度の「第 5 回北海道新聞エコ大賞」において、「企業・団体の部」奨励賞を受賞しました。